

令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	奥飛騨さぼう塾	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

平成17年に設立された「NPO法人神通砂防」は、神通川上流域での災害や砂防事業に関する歴史を継承するとともに、砂防事業の一層の促進を図るための活動を展開し、合わせて住民等の安全・安心の確保、防災意識の向上や安全なまちづくり、環境の保全等の活動を支援し、奥飛騨さぼう塾の活性化と奥飛騨の地域づくりに地域と一体となって取り組んでいる。

その活動への支援を通じ、砂防事業の必要性の啓蒙・普及を図り、砂防と共存する地域づくりを担う人材の育成に資する。

2. 事業実施体制

主催：特定非営利活動法人 神通砂防
共催：国土交通省神通川水系砂防事務所
協力：一般社団法人 北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

■砂防事業現地視察

飛騨の砂守ツアー「奥飛騨SABOめぐり」の開催
開催日及び参加人数：令和5年8月27日（日） 参加者18名
視察先：白谷砂防堰堤群、さぼう塾等

■砂防講演会

地域の小中学生を対象とした講演会の実施
開催日：令和5年11月20日（月）～21日（火）
対象校及び人数：栃尾小学校3年生5名、本郷小学校3・4年生12名、
北稜中学校2年生22名、本郷保育所22名
講師：納口 恭明（防災科学技術研究所 専門員）

■その他砂防学習

総合学習で模型実験、施設見学等を通じ砂防の歴史・役割を学ぶ
開催日及び参加人数：令和5年6月6日（火）、9月20日（水） 参加者61名
対象校：本郷小学校及び栃尾小学校4年生

4. 事業実施による効果（評価・貢献度等）

地域づくり・防災教育を目的とした「砂防学習村宣言」をしている奥飛騨地域の災害や砂防事業に関する歴史的な背景を伝承するとともに、土砂災害や火山災害に対する防災意識の向上、砂防事業への理解と協力の推進、また砂防を活かした地域づくりに寄与している。

砂防講演会は、自然災害のメカニズムへの理解が身近な材料を使った実験で促され、子供たちは、身を守るために日頃から注意しなければならない事項を教わった。また、奥飛騨地域で過去最大の災害である栃尾洞谷土石流（S54発生）から40年以上が経過し、その経験者から話を聞くことで、体験・知識の伝承に大きな役割を果たしている。



左：白岩砂防堰堤、右：奥飛騨さぼう塾



砂防講演会



左：液状化実験（栃尾小学校）
中：地震実験（本郷小学校）
右：雪崩実験（本郷保育所）

